

20日 火曜

創世記

26:1さて、アブラハムの時代にあった先の飢饉とは別に、この国にまた飢饉が起った。それでイサクは、ゲラルのペリシテ人の王アビメレクのもとへ行った。

26:2【主】はイサクに現れて言われた。「エジプトへは下ってはならない。わたしがあなたに告げる地に住みなさい。

26:3あなたはこの地に寄留しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福する。あなたとあなたの子孫に、わたしがこれらの国々をすべて与える。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たす。

26:4そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与える。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。

26:5これは、アブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの命令と掟とおしえを守って、わたしへの務めを果たしたからである。」

26:6こうしてイサクはゲラルに住んでいたが、26:7その土地の人々が彼の妻のことを尋ねた。すると彼は「あれは私の妹です」と答えた。この土地の人々がリベカのことで自分を殺しはしないかと思って、「私の妻です」と言うのを恐れたのであった。彼女が美しかったからである。

26:8イサクは長くそこに滞在していた。ある日のこと、ペリシテ人の王アビメレクが窓から見下ろしていると、なんと、イサクがその妻リベカを愛撫しているのが見えた。

26:9アビメレクは、イサクを呼び寄せて言った。「本当のところ、あの女はあなたの妻ではないか。なぜ、あなたは『あれは私の妹で



聖書の記述

す』と言ったのか。」イサクは「彼女のことで殺されはしないかと思ったからです」と答えた。

26:10アビメレクは言った。「何ということをしてくれたのか。もう少しで、民の一人があなたの妻と寝て、あなたはわれわれに罪責をもたらすところだった。」

26:11そこでアビメレクは、すべての民に命じて言った。「この人と、この人の妻に触れる者は、必ず殺される。」

ゲラルは約束の地カナンの南部です。ききんがあっても、イサクは神様の約束と命令に従って、カナンの地に留まったのです。彼は父アブラハムからその信仰の遺産とも言うべき、信徒の資質を受け継いだと言えるでしょう。親の信仰の生き方は子どもに深く影響するものです。神様を愛して恐れる両親からはそのような子どもが育ち、神様を二の次にする両親からは同じような子どもが育つのです。（もちろん他のクリスチヤンの影響によって育つ場合もあります）

また神様はアブラハムの信仰によってその子孫を祝福すると約束されました。それもそのまま子であるイサクに有効でした。恵の大きさが思われます。

しかし、親の信仰や資質が悪い面で子どもに影響する例もここにあります。イサクが父と同じように、王を恐れるあまり嘘を言い、危険から逃れようとしたのです。それはリベカに危険を与えないものでした。しかし神様は王にイサクとリベカの様子を見せました。またかつてアブラハムのときにも同じことがあって、王が神様から警告を与えられたことを思い起こさせ、そして難を逃れるようにしてくださったのです。

誰でも大切なものを守るために、苦渋の選択をしなければならないときがあります。その弱さの中で、最終的に守ってくださるのは神様です。も

しもイサクが神様の命令やご計画を無視して、勝手に歩んでいたなら、神様の守りは保証されなかっただろう。主に従った結果の危機であったので、主が守ってくださるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

